

第 4 期経営改革実施計画書 令和 7 年度個別計画

令和 7 年 4 月 1 日現在

団体名		公益財団法人 金沢芸術創造財団						代表者職氏名			理事長 吉田 康敏		
組織の状況			令和 5 年 4 月 1 日時点			令和 6 年 4 月 1 日時点			令和 7 年 4 月 1 日時点			(注 1) 常時勤務する役員は「役員等」にのみ計上 (注 2) 「役員等」には評議員を含む (注 3) 「常勤」職員とは正規職員を、「非常勤等」職員とは嘱託、非常勤、臨時等を指す	
			常勤	非常勤等	計	常勤	非常勤等	計	常勤	非常勤等	計		
		役員等の数	1	23	24	1	21	22	1	22	23		
		(人)	うち市職員	0	4	4	0	4	4	0	4		4
			うち市OB	1	0	1	1	0	1	1	0		1
		職員数	62	55	117	61	52	113	63	52	115		
		(人)	うち市職員	11	0	11	10	0	10	10	0		10
			うち市OB	0	7	7	0	7	7	0	7		7
財務の状況			令和 4 年度決算		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算				
		総収入額	2, 067, 903 千円		2, 089, 668 千円		2, 390, 671 千円		2, 229, 896 千円				
		総支出額	2, 046, 436 千円		2, 095, 368 千円		2, 355, 184 千円		2, 229, 896 千円				
		差引収支額	21, 467 千円		△ 5, 700 千円		35, 487 千円		0 千円				
		総資産額	689, 646 千円		537, 185 千円		601, 145 千円						
		総負債額	451, 089 千円		299, 327 千円		332, 800 千円						
		正味財産額	238, 557 千円		237, 858 千円		268, 345 千円						
市からの財政支出		委託料	1, 219, 236 千円		1, 269, 794 千円		1, 405, 092 千円		1, 270, 222 千円				
		補助金等	106, 905 千円		123, 489 千円		188, 824 千円		174, 348 千円				
		その他	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円				
		合計	1, 326, 141 千円		1, 393, 283 千円		1, 593, 916 千円		1, 444, 570 千円				
令和 7 年度の主な事業	自主事業	事業名		事業内容				予算額		効果等見込 (利用者数見込)			
		アーツカウンシル金沢文化芸術活動支援事業		文化芸術活動支援のための助成				23, 600 千円		108 件			
		自主公演事業		新進芸術家育成事業、教育プログラム事業の実施				2, 100 千円		3, 800 人			
		財団施設活性化事業		湯涌クリエイティブ事業				1, 224 千円		1, 000 人			
		ナイトミュージアム事業		夜間開館した文化芸術施設での演奏会や演劇等				7, 400 千円		2, 200 人			
	(指定管理施設を含む) 受託事業	事業名		事業内容				予算額		効果等見込 (利用者数見込)			
		ホール施設管理代行事業		歌劇座・文化ホール・アートホールの管理運営及び活性化事業				395, 785 千円		513, 000 人			
		芸術文化施設管理代行事業		市民芸術村、卯辰山工芸工房、湯涌創作の森等の管理運営及び講座等				515, 734 千円		156, 000 人			
		21世紀美術館施設管理代行事業		21世紀美術館の管理運営及び展覧会等				1, 036, 146 千円		2, 334, 000 人			
		能楽美術館施設管理代行事業		能楽美術館の管理運営及び展覧会等				63, 749 千円		21, 000 人			

改革に向けた
令和 7 年度の
具体的な取組

- 1 芸術文化による地域創生・創造の拠点となる
- (1) ホールは、主として舞台芸術の鑑賞の場、発表の場として魅力ある運営に努めることを基本とする。歌劇座は、オペラ・ミュージカル等大型舞台芸術公演を充実させ、文化ホールは、ホテル等と連携しコンベンション利用の強化も図ることとし、アートホールは、発表会、練習会場としての利用を促進する。民間活力を活用し、ホール 3 施設の規模や立地に応じた活性化を図る。
- (2) 市民芸術村、湯涌創作の森は、それぞれアクションプラン事業、工房事業の充実を図るとともに市民が芸術文化活動に取り組む場として、裾野拡大から担い手育成につながるように幅広い人材のネットワークが構築されるような運営に努める。
- (3) 卯辰山工芸工房は、工芸の担い手育成と工芸の魅力発信に努め、クラフト創造都市としての交流拠点を目指す。
- (4) 21世紀美術館は現代美術を軸に、コレクションの活用にも努め、展覧会、教育普及事業、交流事業により魅力発信と芸術文化に親しむ機会を創出するとともに地域や他都市との連携を強化し、金沢のブランディングに貢献する。また、能楽美術館は、さまざまな切り口による企画展及び体験事業や学習事業により伝統芸能の魅力発信と親しむためのきっかけづくりに努める。
- (5) アーツカウンシル金沢の機能・体制を強化し、市民の文化芸術への関心や裾野拡大のための普及プログラム及びコンサート事業等の充実を図る。
- 2 施設の適正管理とサービスの向上を図る
- (1) 各施設の適正管理に努め、とくに利用者の安全管理には万全を期する。
- (2) 市民芸術村については、円滑な利用者主体の自主運営の維持、向上を図る。
- (3) 卯辰山工芸工房は、工房設備の適正な維持管理に努め、研修者等の制作環境の向上を図る。
- (4) 21世紀美術館、能楽美術館、卯辰山工芸工房については、収蔵品の適正な保存管理に努める。また、収蔵品の持続的なデジタルアーカイブや、デジタル技術を活用した魅力ある発信を進めていく。
- (5) 電話対応、窓口対応などあらゆる機会における利用者サービスの向上に努めるとともに、施設の状態に応じて混雑対策や周辺も含めた美化に努め、ホスピタリティの向上を図る。
- (6) 財団ホームページを始め各種の広報媒体により効果的な広報活動を展開する。
- 3 経営の安定化と自立性の向上及び業務のデジタル化の推進
- (1) 目標利用料金収入の確保及び各種財源の拡充に努めるとともに、効率的な施設運営、管理によりコスト削減を図り、経営の安定化に全力を尽くす。
- (2) 市OAネットワークから移行し、平成30年6月に独自構築した財団ネットワーク上のグループウェア等を活用し、出勤管理や決裁文書の電子化を進めていく。

成果指標 (実施計画の 達成度を測る ための指標) 及び目標値等	成果指標		計画目標値 (令和 1 0 年度末)	令和 7 年度目標値
	生 芸 ・ 術 創 文 化 の 拠 点 と 地 域 創	指定管理施設 利用者数 (歌劇座、文化ホール、アートホール)	573,000人	513,000人
		指定管理施設 利用者数 (市民芸術村、湯涌創作の森)	149,000人	156,000人
		指定管理施設 利用者数 (21世紀美術館)	2,334,000人	2,334,000人
		指定管理施設 利用者数 (能楽美術館)	35,000人	21,000人
		卯辰山工芸工房 修了者数	390人	367人
		アーツカウンシル金沢 (文化芸術活動助成)	195件	108件
	理 施 の サ ー ビ ス 適 正 管 理 向 上	利用者満足度 (満足した割合) (歌劇座、文化ホール、アートホール)	92.0%	91.0%
		利用者満足度 (満足した割合) (市民芸術村、湯涌創作の森)	90.0%	91.0%
	経 営 安 定 化 と 自 立 性 向 上	利用料金収入 (使用料金収入)	254,000千円	246,732千円
		利用料金収入 (観覧料金収入)	463,000千円	438,650千円
		特定費用準備資金積立額 (累計)	221,000千円	146,000千円